

ふるさとぎふ再生基金 23年度選定事業

1) 地域医療確保・感染症対策事業 (23～24年度)

へき地医療マインド養成事業

- ・医師、歯科医師、看護師などを目指す大学生、高校生等を対象に、将来の「へき地医療」を支える人材を育成するため、「へき地医療」の現場を体験し、学ぶ研修会を開催。

リアルタイム感染症サーベイランスシステム情報発信事業

- ・感染症警戒情報、予防方法、国・県からの通知などの感染症対策情報メールをパソコン、携帯電話を通じて、県民、医療機関、学校、市町村に迅速に配信する機能をリアルタイム感染症サーベイランスシステムに追加。

(上記2事業は、22年度選定事業の内容を一部拡充して実施するもの)

【23年度事業費：6,393千円(総事業費見込み：7,286千円)】

2) 障がい者自立支援事業 (23～25年度)

障がい者生活支援調査員配置事業

- ・障がい者雇用関係者間での効果的な就労支援事例やノウハウの共有を図って、きめ細かな障がい者支援を実施するため、自ら相談・支援に携わりながら、求職・訓練~就職~就労までの障がい者雇用の各段階を一貫して継続的に追跡調査する専門の調査員をモデル的に配置し、調査結果を事例集、研修、その他の就労支援施策等に反映。

【23年度事業費：10,080千円(総事業費見込み：32,240千円)】

3) 芸術・文化振興事業 (23～24年度)

県美術館開館30周年記念シャガール展

- ・県美術館の展示機能強化記念の企画展として「シャガール展」をぎふ清流国体の開催期間に開催。

県博物館展示機能強化事業

- ・県博物館の展示機能を強化するため、展示品の温度・湿度の管理や盗難から守る展示ケース、展示品の倒壊を防ぐ免震台などを整備し、併せてぎふ清流国体の開催期間に特別展を開催。

【23年度事業費：57,900千円(総事業費見込み：89,000千円 総事業費のうち、再生基金充当額は86,969千円、残額2,031千円は観覧料を充当)】

